

平成24年度黒潮生物研究財団業績 (著者等の内、財団職員等はゴシックで示す)

(1) 著作

【機関誌等】



○黒潮生物研究財団紀要“Kuroshio Biosphere” Vol. 9, March 2013

- ・REIMER Davis James, SINNIGER Frederic, IREI Yuka. 2013. Preliminary list of macrocnemic zoanthid diversity (Anthozoa: Hexacorallia: Zoantharia) from southern Shikoku, Japan. Kuroshio Biosphere, 9: 1-13, 2 pls.
- ・OBUCHI Masami. 2013. Two tropical comatulid (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida) from Okinoshima Island, Kochi, new records for Japan. Kuroshio Biosphere, 9: 15-25, 1 pl.
- ・久保田信・斎藤伸輔. 2013. 茨城県産ヒルムシロヒドラ（ヒドロ虫綱，花クラゲ目）の巨大クラゲ. Kuroshio Biosphere, 9: 27-30, 1 pl.
- ・久保田信・足立文. 2013. ヒクラゲの刺傷. Kuroshio Biosphere, 9: 31-34, 1 pl.
- ・久保田信・山田守彦・築地新光子・峯水亮・多留聖典・奥田和美. 2013. *Labatolampea tetragona*（クシクラゲ類）は南日本に広く分布する. Kuroshio Biosphere, 9: 35-39.

○黒潮生物研究財団機関誌“CURRENT”

Vol. 13, no. 1 [通巻 48号] (平成24年4月25日発行)

- ・中地シュウ. 表紙：ハリカルイシガニ *Daldorfia spinosissima*. p. 1.
- ・中地シュウ. 5年間のリーフチェック調査結果からみた爪白海岸のサンゴ群集の移り変わり. pp. 2-4.
- ・小淵正美. ごあいさつー沖縄で、棘皮動物だったー. p. 5.
- ・目崎拓真・亀田和成. 2011年度黒島周辺海域のスポットチェックの結果. pp. 6-7.
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち（四国編）No. 5 アザミサンゴ *Galaxea fascicularis*. p. 8
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No. 5 コブクロモク *Sargassum crispifolium*. p. 8
- ・中地シュウ. 足摺宇和海の棘皮動物 4 珍しい普通のヒトデ?! イトマキヒトデ *Asterina pectinifera*. p. 9
- ・中地シュウ. いつかは食べたいリョウマエビ. p. 10

Vol. 13, no. 2 [通巻 49号] (平成24年7月25日発行)

- ・中地シュウ. 表紙：スダレハマグリ *Katylisia japonica*. p. 1.
- ・田中幸記. ホンダワラ類の分布と波当たりの強さとの関係. pp. 2-3.
- ・岩瀬文人. 竹ヶ島海中公園自然再生事業として行われたエダミドリイシの移植. pp. 4-5.
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No.6 ウ斯巴モク *Sargassum tenuifolium*. p. 6
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち（四国編） No.6 イタアナサンゴモドキ *Millepora platyphylla*. p. 6
- ・中地シュウ. 足摺宇和海の棘皮動物 5 ウニに見えないウニ タコノマクラ *Clypeaster japonicus*. p. 7
- ・中地シュウ. 干潟に通う. p. 8

Vol. 13, no. 3 [通巻 50 号] (平成 24 年 10 月 25 日発行)

- ・中地シュウ. 表紙：ハクセンシオマネキ *Uca lactea*. p. 1.
- ・小淵正美. 「ウミシダ」を知る. pp. 2-3.
- ・小淵正美. 国際棘皮動物学会旅行記. p. 4.
- ・岩瀬文人. 研究所宿泊棟の完成・利用開始について. p. 5.
- ・田中幸記. 海藻の森をゆく No.7 ヒラネジモク *Sargassum okamurae*. p. 6.
- ・目崎拓真. 私の愛するサンゴたち（四国編） No.7 ニホンアワサンゴ *Alveopora japonica*. p. 6.
- ・中地シュウ. 足摺宇和海の棘皮動物 6 珍ヒトデの代表選手 ナンカイヒトデの仲間. p. 7.
- ・中地シュウ. 愛媛県愛南町須ノ川におけるサンゴの大量斃死. p. 8.

Vol. 13, no. 4 [通巻 51 号] (平成 25 年 1 月 25 日発行)

- ・中地シュウ. 表紙：スカシカシパン *Astriclypeus manni*. p. 1.
- ・目崎拓真・佐野美月・浜口和也（竜串ダイビングセンター）. 高知県土佐清水市竜串見残し湾にある巨大シコロサンゴの放精放卵. pp. 2-3.
- ・小淵正美. ウミシダ類の生活史<前編>. p. 4-5.
- ・中地シュウ. コウモリを探して. p. 6.

【査読あり原著等】

- ・ Fujita, Y., Obuchi, M., 2012. *Comanthus kumi*, a new shallow-water comatulid (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida: Comasteridae) from the Ryukyu Islands, Japan. *Zootaxa*, 3367: 252-268.
- ・ Kouki Tanaka, Seiya Taino, Hiroko Haraguchi, Gabrielle Prendergast, Masanori Hiraoka. 2013. Worming off southern Japan linked to distributional shift of subtidal canopy-forming seaweeds. *Ecology and Evolution*, 2, 11, 2854-2865 doi: 10.1002/ece3.391 (2012 年編集者推薦論文)
- ・ Obuchi, M., Hiratsuka, Y., Uehara, T., 2013. Three regular sea urchins (Echinodermata:

- Echinoidea) from coral reefs on Okinawajima Island. *Fauna Ryukyuana*, 2: 1-10.
- Shashank Keshavmurthy, Sung-Yin Yang, Ada Alamaru, Yao-Yang Chuang, Michel Pichon, David Obura, Silvia Fontana, Stephane De Palmas, Fabrizio Stefani, Francesca Benzoni, Angus MacDonald, Annika M. E. Noreen, Chienshun Chen, Carden C. Wallace, Ruby Moothin Pillay, Vianney Denis, Affendi Yang Amri, James D. Reimer, Takuma Mezaki, Charles Sheppard, Yossi Loya, Avidor Abelson, Mohammed Suleiman Mohammed, Andrew C. Baker, Pargol Ghavam Mostafavi, Budiyanto A. Suharsono & Chaolun Allen Chen. 2013. DNA barcoding reveals the coral ‘laboratory-rat’, *Stylophora pistillata* encompasses multiple identities. *Scientific reports*, 3 : 1520 | DOI: 10.1038/srep01520.
 - Vianney Denis, Takuma Mezaki, Kouki Tanaka, Chao-Yang Kuo, Stephane De Palmas, Shashank Keshavmurthy, Chaolun Allen Chen. 2012. Coverage, Diversity, and Functionality of a High-Latitude Coral Community (Tatsukushi, Shikoku Island, Japan). *PLoS ONE*, 8(1): e54330. doi:10.1371/journal.pone.0054330.
 - 田中幸記. 2013. 高知県における藻場の群落構造の特性と海洋温暖化に伴う分布の長期的な変遷. 高知大学博士論文

【査読なし原著等】

- OBUCHI Masami. 2013. Two tropical comatulid (Echinodermata: Crinoidea: Comatulida) from Okinoshima Island, Kochi, new records for Japan. *Kuroshio Biosphere*, 9: 15-25, 1 pl.
- 平岡雅規・田中幸記・田井野清也・蜂谷潤. 2012. 温暖化最前線の藻場変動と対応策. *海洋と生物*, 34 (4): 314-318.
- 目崎拓真・久保田賢. 2012. 高知県沿岸海域における造礁サンゴ群集の変遷. *海洋と生物*, 34 (4): 332-337.
- 中地シュウ. 2012. 5年間のリーフチェック調査結果からみた爪白海岸のサンゴ群集の移り変わり. *CURRENT*, 13 (1): 2-4.
- 目崎拓真・亀田和成. 2012. 2011年度黒島周辺海域のスポットチェックの結果. *CURRENT*, 13 (1): 6-7.
- 田中幸記. 2012. ホンダワラ類の分布と波当たりの強さとの関係. *CURRENT*, 13 (2): 2-3.
- 岩瀬文人. 2012. 竹ヶ島海中公園自然再生事業として行われたエダミドリイシの移植. *CURRENT*, 13 (2): 4-5.
- 中地シュウ. 2012. 愛媛県愛南町須ノ川におけるサンゴの大量斃死. *CURRENT*, 13 (3): 8.
- 目崎拓真・佐野美月・浜口和也 (竜串ダイビングセンター). 2012. 高知県土佐清水市竜串見残し湾にある巨大シコロサンゴの放精放卵. *CURRENT*, 13 (4): 2-3.

【高知新聞連載】

土曜ネイチャー 『大月発 くろしお便り』月1回土曜朝刊

- ・ 2012.04.28 四国の小さなサンゴ礁 目崎拓真
- ・ 2012.05.26 身近な海の意外な毒 小淵正美
- ・ 2012.06.23 沖永良部島、青の世界 岩瀬文人
- ・ 2012.07.21 海中庭園をちぎり絵で 田中幸記
- ・ 2012.08.18 ゆきばあちゃんの田んぼ 中地シュウ
- ・ 2012.09.15 世界一の産卵観察会を 目崎拓真
- ・ 2012.10.13 ハナハゼの動きに注目！ 東海大学大学院生・鈴木翔子
- ・ 2012.11.10 生き物の名前を考える 小淵正美
- ・ 2012.12.08 再生した竜串のサンゴ 岩瀬文人
- ・ 2013.01.19 深層水の3段活用 田中幸記
- ・ 2013.02.16 命湧く干潟を歩く 中地シュウ
- ・ 2013.03.16 変わりゆく高知の海 目崎拓真
- ・ 2013.03.30 最終回 今後も大月と共に 岩瀬文人

【その他の著作】(CURRENT・高知新聞連載は除く)

- ・ 中地シュウ. 2012. 知っちょこ！大月まめ知識 Vol.1 ヒメアサリ. 広報おおつき, No.228: 18
- ・ 中地シュウ. 2012. 知っちょこ！大月まめ知識 Vol.2 ～山の小さなキウイフルーツ カズラナシ(シマサルナシ)～. 広報おおつき, No.229: 18
- ・ 中地シュウ. 2012. 知っちょこ！大月まめ知識 Vol.3 ～早ぼりたけのこ～. 広報おおつき, No.230: 20
- ・ 中地シュウ. 2012. 知っちょこ！大月まめ知識 Vol.4 ～磯の毒まんじゅう スベスベマンジュウガニ～. 広報おおつき, No.231: 15

(2) 講演等

○学会等

- ・ 今原幸光. 2012.06. 日本産ハナゴケ属について. 第48回日本動物分類学会(東邦大学)口演発表
- ・ 田中幸記・目崎拓真・田井野清也・平岡雅規. 2012.07. 高知県における熱帯性・温帯性ホンダワラ類の分布様式と造礁サンゴ類との関係. 第36回日本藻類学会札幌大会(北海道大学)ポスター発表
- ・ 田井野清也・田中幸記・平岡雅規. 2012.07. 温帯・亜熱帯性ホンダワラ類の混生群落における各種の季節的消長. 第36回日本藻類学会札幌大会(北海道大学)口演発表
- ・ Obuchi, M., Fujita, Y., Nakano, Y., Uehara, T., Motokawa, T. 2012.08. Life history of a hermaphroditic feather star, *Dorometra sesokonis* (Crinoidea: Comatulida). 14th Internal Echinoderm Conference (Royal Academy of Science: Brussels) 口演発表

- ・久保田賢・目崎拓真. 2012. 11. 次世代シーケンサー を用いた造礁サンゴに共生する褐虫藻の網羅的解析の試み. 日本サンゴ礁学会第 15 回大会 (東京大学) 口演発表
- ・目崎拓真・田中幸記・久保田賢. 2012. 11. 高知県香南市夜須町手結周辺における造礁サンゴ群集の拡大について. 日本サンゴ礁学会第 15 回大会 (東京大学) ポスター発表
- ・会田美佳・中森亨・目崎拓真. 2012. 11. 高知県大月町の造礁サンゴの形態と生産. 日本サンゴ礁学会第 15 回大会 (東京大学) ポスター発表
- ・木島大雅・佐藤実樹子・Frederic Sinniger・新垣誠司・目崎拓真・波利井佐紀. 2012. 11. 緯度勾配下における稚サンゴの獲得褐虫藻タイプの比較. 日本サンゴ礁学会第 15 回大会 (東京大学) ポスター発表
- ・斎藤宇泰・喜多村鷹也・倉田友香・大毛淳矢・竹内友規・岩瀬文人・横地洋之. 2012.11. 四国西南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入 2004-2012. 日本サンゴ礁学会第 15 回大会 (東京大学) ポスター発表
- ・林原毅・宮本麻衣・今原幸光・濱野明・中村武史・立川浩之. 2012. 11. 天皇海山における冷水性サンゴ類の分布調査 (2010, 2011 年の結果概要). 日本サンゴ礁学会第 15 回大会 (東京大学) ポスター発表
- ・鈴木翔子・木村瑞紀・岩瀬文人・中野正夫・赤川泉. 2012.11. ハナハゼがペアを替えるワケ. 日本動物行動学会第 31 回大会 (奈良女子大学) ポスター発表
- ・中地シュウ. 2012.12. 四国西南海域における稀産ヒトデの採集・観察例. 第 9 回棘皮動物研究集会 (東北大学) ポスター発表
- ・中地シュウ. 2012.12. 四国西南海域のヒトデ相と稀産種の採集・観察記録. 四国自然史科学研究センター設立 10 周年記念シンポジウム「四国の自然は、いま 2012」(高知大学) ポスター発表
- ・中地シュウ. 2012.12. 四国西南海域における近年のオニヒトデの大発生について. 四国自然史科学研究センター設立 10 周年記念シンポジウム「四国の自然は、いま 2012」(高知大学) ポスター発表
- ・中地シュウ. 2012.12. 高知県大月町シウラの浜におけるオカヤドカリ属の生息状況. 四国自然史科学研究センター設立 10 周年記念シンポジウム「四国の自然は、いま 2012」(高知大学) ポスター発表
- ・中地シュウ. 2012.12. 四国西南地域で新たに見つかったカワアイ (キバウミナ科) およびシオマネキ (スナガニ科) の生息地. 四国自然史科学研究センター設立 10 周年記念シンポジウム「四国の自然は、いま 2012」(高知大学) ポスター発表
- ・小淵正美. 2013.02. 高知におけるウミシダ類の多様性. はたのおと 2013 (黒潮町) 口演発表
- ・中地シュウ. 2013.02. 四国西南海域のヒトデ相と稀産種の採集・観察記録. はたのお

と 2013 (高知県黒潮町) ポスター発表

- ・中地シュウ. 2013.02. 四国西南地域で新たに見つかったカワアイ (キバウミナ科) およびシオマネキ (スナガニ科) の生息地. はたのおと 2013 (高知県黒潮町) ポスター発表
- ・柴原康広・中地シュウ・鉄多加志・鈴木伸洋・斎藤俊郎. 2013.03. 高知県大月町および屋久島で採集されたツムギハゼ *Yongeichthys criniger* の毒量および再生産の可能性について. 平成 25 年度日本水産学会春季大会 (東京海洋大学) 口演発表
- ・鉄多加志・武藤文人・中地シュウ・斎藤俊郎. 2013.03. 高知県大月町および屋久島で採集したツムギハゼの生息状況および外部形態による同定結果. 平成 25 年度日本水産学会春季大会 (東京海洋大学) 口演発表

○依頼講演等

- ・中地シュウ. 2012.05. 宇和海の環境と生き物. 内海中学校海学習 (愛媛県愛南町)
- ・中地シュウ. 2012.05. 身近な海の移り変わりをしらべよう. 内海中学校 (愛媛県愛南町)
- ・岩瀬文人. 2012.05. サンゴ食害生物とその対策ーサンゴ礁保全のあるべき姿と酢酸注射によるオニヒトデ駆除. 奄美群島サンゴ礁シンポジウム「知ろう 守ろう 奄美のサンゴ」(鹿児島県知名町)
- ・中地シュウ. 2012.06. 足摺宇和海国立公園の美しい自然と魅力的な生き物たち. 足摺宇和海国立公園大月地区パークボランティア新規養成講習 (大月町)
- ・中地シュウ. 2012.07. サンゴの海の生き物たちを学ぼう. 三崎小学校 (土佐清水市)
- ・中地シュウ. 2012.07. 足摺宇和海の環境と生き物ー地域の自然の魅力と特徴ー. 四万十高等学校自然環境コース野外学習 (研究所)
- ・中地シュウ. 2012.07. 礫浜の潮間帯の生き物を調べる. 四万十高等学校自然環境コース野外学習 (研究所)
- ・岩瀬文人. 2012.07. サンゴという生き物. 宍喰小学校サンゴ移植イベント (徳島県海陽町)
- ・岩瀬文人. 2012.07. 高知の海の環境保全 陸域の人の活動が海にもたらすもの. 第 63 回日本学校農業クラブ高知県大会 (四万十市)
- ・中地シュウ. 2012.08. 地域の自然の姿を知るー四国西南部の海の魅力と特徴ー. 土佐女子高校クラブ活動研修会 (研究所)
- ・田中幸記. 2012.08. 海の生き物の通知表. 海川森つながり再発見ー海編ー (四万十市)
- ・目崎拓真. 2012. 10. 温暖化とどうつきあうか. 高知大学共通教育授業 (高知大学)
- ・中地シュウ. 2012.10. 地域の自然を知る命あふれる御荘湾の干潟. 御荘中学校 (愛媛県愛南町)
- ・中地シュウ. 2012.11. 足摺宇和海の魅力と保全の取り組み. 宇和海中学校文化祭 (愛媛県愛南町)

- ・中地シュウ. 2012.11. 地域の自然に学ぶ―幡多・南予の自然と保全や教育の取組―. 高知県町村教育長秋季研修会（大月町）
- ・中地シュウ. 2012.11. 足摺宇和海国立公園の海の魅力. 第六回竜串リーフチェック講演会（土佐清水市）
- ・岩瀬文人. 2012.11. 海洋生物の毒と人との関わり. 第9回食品衛生指導員研修支部大会（四万十市）
- ・中地シュウ. 2012.12. 地域の海の生き物 ①サンゴの海の生き物、磯の生き物 ②干潟の生き物. 中浦小学校（愛媛県愛南町）
- ・中地シュウ. 2013.02. オニヒトデについて知ろう. 竜串オニヒトデ駆除イベント（土佐清水市）
- ・岩瀬文人. 2013.02. サンゴ食害生物とその対策 サンゴ礁保全のあるべき姿と酢酸注射によるオニヒトデ駆除. サンゴ群集保全手法研修会（鹿児島県枕崎市）
- ・中地シュウ. 2013.03. 地域にある研究所ができること―黒潮生物研究所での海洋教育の取り組み―. 第5回これからの海洋教育を考えるセミナー（高知市）
- ・田中幸記. 2013.03. 海と森のつながり. 坂本ダム植樹イベント（宿毛市）

（3）調査報告書等

- ・平成 24 年度石垣島川平湾生物調査業務報告書（技術員派遣に係る調査実施分）2012.10.（株式会社東京久栄）
- ・平成 24 年度モニタリングサイト 1000 事業における四国南西部沿岸海域のサンゴ礁モニタリング業務報告書. 2013.01.（一般財団法人自然環境研究センター）
- ・平成 24 年度竜串地区自然再生事業海域調査業務報告書. 2013.03.（中国四国地方環境事務所）
- ・平成 24 年度グリーンワーカー事業（足摺地域オニヒトデ等駆除事業）報告書. 2013.03.（中国四国地方環境事務所）
- ・平成 24 年度環境生態系保全活動モニタリング調査及び進行管理委託業務報告書. 2013.03.（宿毛湾環境保全連絡協議会）
- ・H24 ウミトサカ類生物相調査における標本収集および同定業務報告書. 2013.03.（一般財団法人沖縄美ら島財団）
- ・H24 自 竹ヶ島海中公園 海・宍喰浦 自然再生事前調査業務報告書. 2013.03.（ニタコンサルタント株式会社）

（4）研究所利用者による業績（把握できているのものみ）

【論文等】

- ・Yoko Nozawa. 2012. Annual variation in the timing of coral spawning in a high-latitude environment: influence of temperature. Biol. Bull., 222: 192-202.

- Yoko Nozawa. 2012. Effective size of refugia for coral spat survival. *J. Exp. Mar. Biol. Ecol.*, 413: 145-149.
- Mamiko Yorifuji, Hirohiko Takeshima, Kohji Mabuchi, Mutsumi Nishida. 2012. Hidden Diversity in a Reef-dwelling Sea Slug, *Pteraeolidia ianthina* (Nudibranchia, Aeolidina), in the Northwestern Pacific. *Zool. Sci.*, 29: 359-367.
- A. Sentoku and Y. Ezaki. (submit; 2012, 08, 01). Intrinsic Constraints on Sympodial Growth Morphologies of Azooxanthellate Scleractinia of the Genus *Dendrophyllia*. *PLOS ONE*.
- Sho Toshino, Hitoshi Miyake, Susumu Ohtsuka, Kazuya Okuizumi, Aya Adachi, Yoshimi Hamatsu, Makoto Urata, Kazumitsu Nakaguchi, Syuhei Yamaguchi. 2013. Development and polyp formation of the giant box jellyfish *Morbakka virulenta* (Kishinouye, 1910) (Cnidaria: Cubozoa) collected from the Seto Inland Sea, western Japan. *Plankton Benthos Res.*, 8(1): 1-8.

【学会発表等】

- A. Sentoku and Y. Ezaki. Modes of increase by means of budding and resultant colony formation in Scleractinia *Dendrophyllia*. 2012 Association for the Sciences of Limnology and Oceanography Aquatic Sciences Meeting, Lake Biwa, Otsu, Japan, July 2012.
- A. Sentoku and Y. Ezaki. Structural constraints on sympodial growth morphologies of azooxanthellate scleractinians of the genus *Dendrophyllia*. 34th International Geological Congress, Brisbane, Australia, August 2012. (口演発表)
- 千徳明日香・江崎洋一. 仮軸状形態で特徴づけられる非造礁性群体六射サンゴ *Dendrophyllia* 属の出芽時の構造制約. 日本古生物学会 2012 年年会・総会. 名古屋. 2012 年 7 月. (口演発表)
- 千徳 明日香・後藤 慎介・江崎 洋一, 徳田 悠希. 非造礁性六射サンゴにおける出芽による無性増殖様式と群体形成. 日本地質学会第 119 回学術大会. 大阪. 2012 年 9 月. (ポスター発表)